

## 浜松市立東部中学校同窓会設立(趣意書)

本校は、この地に移転統合して 50 年になります。この半世紀を迎えるのを機会に、これまで以上に地元から愛される東部中のさらなる基礎を確立したいと考えています。そのために、今、本校卒業生からなる中学校同窓会設立の準備を進めています。この地で学んだ先輩にはどんな人がいて、どんな活躍をしているのかを身近かに感じ、卒業後も母校に誇りをもって生きる基になることを期待しています。

この会は、正会員（現東部中、旧東部中及び旧飯田中の卒業生）、準会員（現在、東部中学校に在籍している者）、特別会員（母校の現旧教職員）で構成され、『会員相互の親睦を図り、教養を高めると共に、母校浜松市立東部中学校の発展に寄与する』ことを趣旨とします。

本趣旨をご理解の上、よろしくご協力をお願いいたします。

設立は、平成 28 年 3 月 16 日(水)を予定しています。

旧東部中学校は今の東部市民協働センターの地に、旧飯田中学校はかつての城南高等学校の跡地にありました。今の場所に移転統合して、新幹線工事により移転を迫られ、平成 27 年度に 50 周年を迎えます。学校番号は浜松市立中学校の一番です。本校は現在、半世紀の節目として、これまで卒業生が築いてきた伝統を引き継ぎ、新たな 50 年に向けて、学校をあげて今まで以上に名実ともに魅力ある「No.1 スクール」になることを目指しています。

今年は、これまでの半世紀の成果と伝統を引き継ぎ、次の半世紀につなげるための様々な企画を計画しています。11 月 28 日(土)には、鈴木康友市長や児玉一記教育長のご臨席も頂いて記念式典を開催する予定です。これまでの教育活動の歴史を総括して、新たな東部中学校を創造するために外見と内見の見直しを図りました。

『50 周年の外見』の代表は制服のブレザー化です。2 年間の準備後に本年度、1 年生から実現し、2 年後には全校で勢ぞろいすることになります。また、これは国際化(グローバル化)の時代に、軍服のなごりの残るつめ襟・セーラー服からブレザーに替えることで、形の上でもリベラルな感覚を育てることを目指しています。また、生徒たちの発案で募集した“ゆるキャラ”も校歌にある「駒塚」からイメージ化した『駒ちゃん』に決まり、地元の協力を頂き着ぐるみも完成し、学校の様々なイベントに登場して、盛り上げています。さらに学校の施設設備も整備し、生徒たちにとって学びやすい環境になっています。

『50 周年の内見』は、昨年度これまでの半世紀の学校像を「校訓・和」に並んで生徒自身が伝えるものとして、「生徒訓・志」とし、石碑に刻んでその内容を実践しています。何事にも「挑戦する心」をもって、一人ひとりが「学ぶ心」で充実した日々を過ごし、この機会を与えてくれた周りの人に「感謝する心」で接しています。この生徒訓は、生徒たちで言葉を募集した 22 語の中から様々な議論を経て創られたものです。また、ピアサポートにも生徒会をあげて取り組んでいます。中学時代を共に過ごした仲間たちが、母校愛のもと互いに助けあい、伝統の気風を受け継ぎ、次代へ引き継いでほしいと願っています。

浜松市立東部中学校同窓会 発起人一同  
代表 松永 新一  
浜松市立東部中学校 校長 須山嘉七郎

